

【吹田市】
校務 DX 計画

1. 計画の目的

本計画は、学校における校務の効率化・最適化を図り、教職員が児童生徒への指導や支援により多くの時間を充てられる環境を整備することを目的とする。デジタル技術を活用し、業務負担の軽減、データ活用の高度化、働き方改革の推進を目指す。

2. 基本方針

本計画では、校務の効率化とデジタル化を推進し、教職員が教育活動に専念できる環境を整備する。そのため、以下の 5 つの方針に基づき、具体的な取組を進める。

- (1) 「さくら連絡網」を活用し、保護者への通知業務をオンライン化するとともに、学校や教育委員会からの情報共有を電子化し、業務の効率化を図る。
- (2) 成績処理・出欠管理・健康情報を一元管理するシステムを活用し、校務のデジタル化を推進する。さらに、クラウドを活用した校務システム（学習系・校務系）の統合や、各校の事務処理フローの標準化を進め、業務の効率化を図る。また、FAX や押印の廃止を進め、データでのやり取りが可能なものについては完全デジタル化を推進する。紙媒体を利用しているものについては、デジタルへの移行を前提に文書の性質を考慮し、適切な授受・保管方法を検討する。
- (3) 児童生徒の学習状況や健康情報アプリを活用し、個別最適な指導・支援を実現する。データ分析を活用し、教育の質の向上を目指す。
- (4) 校務 DX ツールの活用やデータ分析に関する研修を実施し、教職員の ICT 活用能力を高める。また、各校の情報教育担当者を中心に、校内の支援体制を強化する。
- (5) 個人情報の適切な管理を徹底し、セキュリティ対策を強化する。平成 30 年に策定された「吹田市立小中学校情報セキュリティに関する指針」を、現場の実態に即した内容に見直し、新たな「教育情報セキュリティポリシー」を策定する。クラウド活用を前提とした適切なセキュリティレベルを確保しながら、データ利活用や個別最適な学びを支える教育 DX の基盤を構築する。